

No.26 キーワード： 畦畔除草管理の省力化（草刈りの省略、作業の前倒し）

(有)吉田農産 石川県加賀市

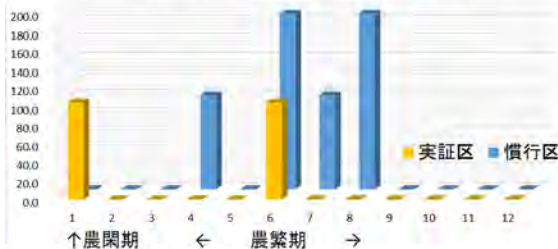
HP:
<https://www.facebook.com/yositanousann>

基本情報

- ・ 気候：日本海側気候
- ・ 土質：沖積埴壌土
- ・ 従事人数：6人
- ・ 臨時雇用：7人

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	52ha	30a
主食用米(直播)	13ha	30a
大豆	23ha	30a
そば	1ha	30a

水稲65ha作付(畦畔面積2ha)における
畦畔除草管理の月別労働時間



経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 水稲・大豆・そばの複合化と水稲直播栽培の導入による作期分散、省力化
- ・ 低コスト・高品質に対応した新技術の積極的導入
- ・ 従業員の育成や労務管理の実施
- ・ 地権者・消費者に信頼される丁寧な水田管理の実施

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 畦畔除草管理の低コスト、省力化
 - ・ 畦畔除草管理の草刈り省略及び作業の前倒し
(散布方法は、粒剤：散粒器、液剤：動力噴霧機)

実証：除草剤散布2回

- 1月 土壌処理剤(DBN) <粒剤>
- 6月 茎葉処理剤+土壌処理剤
(DCMU) <液剤> (グルホシネートPナトリウム塩) <液剤>

慣行：除草剤散布2回+草刈り2回

- 4月 茎葉処理剤(グルホシネート) <液剤>
- 6月 草刈り(刈払機)
- 7月 茎葉処理剤(グリホサートカリウム塩) <液剤>
- 8月 草刈り(刈払機)

導入効果

- ・ 除草効果【抑草期間】
実証1月中旬～5月中旬
6月中旬～8月下旬
(慣行4月下旬～8月下旬)
- ・ 10a(畦畔30m²) 当たり
 物材費 ▲約1割
 作業時間 ▲約7割
 労働費 ▲約7割
 トータルコスト ▲約5割
 (慣行の畦畔管理体系との比較、労働費を1,000円/時間とした場合)

支援体制

- ・ 県とJAが連携し、農業者と共に現地実証ほを設置し、技術を検証
 県(技術の検討・構築・評価)
 JA(技術普及のサポート)

課題・今後の目標

- ・ 経営規模の拡大に伴って、畦畔管理作業が負担となっており、畦畔除草の低コスト・省力化が必要
- ・ 実証区で1回目除草剤散布のムラにより、一部で雑草が発生
 → 除草剤の均一散布のため、散粒機の改良を検討